



# 学校だより

## 12月号

横浜市立六つ川台小学校  
令和元年11月29日

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>  
E-mail:[y3mutukd@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3mutukd@edu.city.yokohama.jp)



## 個性に即した公平

児童支援専任 高味 裕二

いよいよ開幕まで238日となり、東京2020オリンピック・パラリンピックへの関心が一層高まってきました。今回の開催にあたり、小学校でも様々な取り組みが行われています。

まず、みなさんがよく目にする「ミライトワ（左上）」と「ソメイティ（右上）」は、史上初となる小学生の投票で決定したマスコットです。投票には、海外の日本人学校も含め16,769校の小学校が参加しました。

市内では、『横浜市立学校 カウントダウンリレー』が3月から始まり、本校も5月16日にウェブサイトへ掲載されました。また、オリンピック・パラリンピアンによる学校訪問事業では、9月24日に車いすバスケットボールの元日本代表選手や現役選手が来校し、講演や体験授業を行いました。さらに、4年生の15名と5・6年生各1名が11月16日に第1回オリ・パラスポーツフェスティバルに参加し、実際にボッチャやブラインドサッカー、フライングディスクの競技の楽しさや難しさを体験しました。

これらのオリンピック・パラリンピックに関わる活動の中で、学校訪問事業に先立って取り組んだ事前授業のことが印象に残っています。

パラリンピックは次の4つの価値を重視しています（表記は黒板に掲示したものです）。

**ゆうき**  
**勇気**  
つらいことやできないかもしれないと思う  
ことから、にげ出さないで立ち向かう力。

**つよ いし**  
**強い意志**  
あきらめないで、目標に向かって  
努力し続けられる力。

**いんすぷれいしょん**  
**インスピレーション**  
強く気持ちをゆさぶられ、自分も何かに  
挑戦してみたいと感じさせる力。

**こうへい**  
**公平**  
一人一人のちがいを理解して工夫すれば、だれもが  
自分のベストをつくすチャンスがあると気づかせる力。

『公平』に注目して競技する選手や用具の画像を見ていくと、例えば視覚障がいの選手をサポートするガイドランナー、音の鳴るボール、条件を揃えるためのアイマスク、急な接触を防ぐルールなど、子ども達は次々と気付いたことを発表し始めました。それらが選手にとって難しいことを可能にするだけでなく、平等な状況を生み出し、かつ競技の魅力を引き出していることに感心していました。

そして車いすや義足、知的障がい、重度機能障がいなど、様々な対象と競技があることを知り、3年生から6年生までそれぞれの子どもの言葉で授業のまとめをしました。

個性に即した公平、この考えは日頃の学校生活にも大いに生かしていけると思います。改めて、一人一人の小さな「ちがい」を理解し、だれもが安心して豊かに毎日を送ることができるように工夫していくことの大切さに気付かされました。

今後のご家庭や地域の力をお借りしながら、児童支援専任として積極的に子ども達に関わり、理解を深めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

2019年も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。